

新庁舎等の整備 市民説明会

～計画の一部見直しを含めた今後の進め方について～

本日、お話しする内容

1. 新庁舎等の整備とは
 - ・これまでの計画の目的と概要
 - ・これまでの主な取組
2. これまでの計画を見直す新たな進め方とは
 - ・趣旨
 - ・新たな進め方
 - ・新案「両輪体制」
3. 今後の進め方、その他
4. 質疑応答

1. 新庁舎等の整備とは

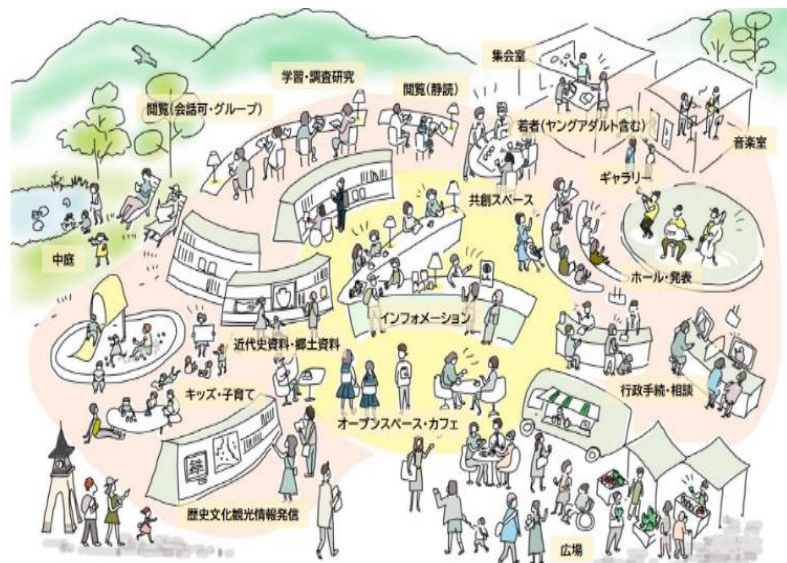
■これまでの計画の目的と概要

現在の本庁舎が抱える様々な課題の解決を図る

【今の場所（市庁舎現在地）】

窓口サービスの維持

中央図書館等の周辺の公共施設の再編



市庁舎現在地利活用のイメージ

【深沢】

本庁舎の移転整備

深沢行政センター等の公共施設の再編



新庁舎等のイメージ

1. 新庁舎等の整備とは

■これまでの主な取組

- H22 東日本大震災
- H28 「本庁舎整備方針」 → [移転方針決定](#)
- H29 「公的不動産利活用推進方針」 → [移転先：深沢](#) [今の場所：窓口・周辺公共施設再編](#)
- R4 「位置条例」の改正を提案 → 賛成16名（反対10名）で、[出席議員2/3に届かず否決](#)
- R5 「現在地利活用基本計画」 → [今の場所：窓口・中央図書館等](#)
- R6 新庁舎等の基本設計等の業務委託の契約締結（議会承認）
- R7 [新案「両輪体制」の検討](#)

（年度）

2. これまでの計画を見直す新たな進め方とは

■趣旨

「市民の安全安心のために災害に強いまちをつくる」
—この思想が事業思想の根幹にあります。

大規模災害が発生した際にも行政の業務を継続できるよう、防災機能を備えた新たな拠点を深沢エリアに整備します。この拠点は、災害時の中核となるだけでなく、日常においても市民の活動や交流の場として活用できる機能を備えます。

一方で、現在地については、これまでと同様に窓口サービスの機能を維持し、市政の意思を形づくる機能（議会・政策判断等）を引き続き担う拠点として活用していきます。

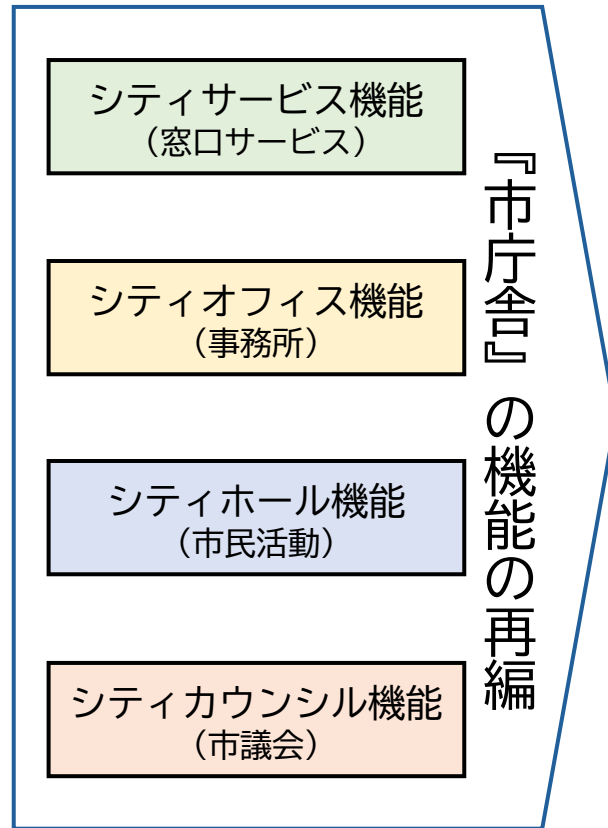
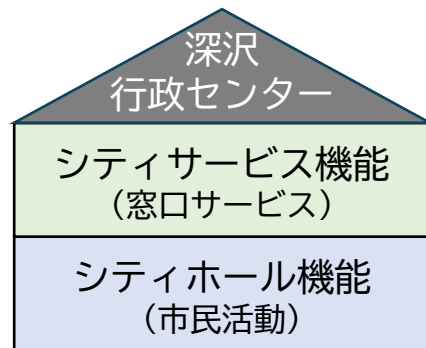
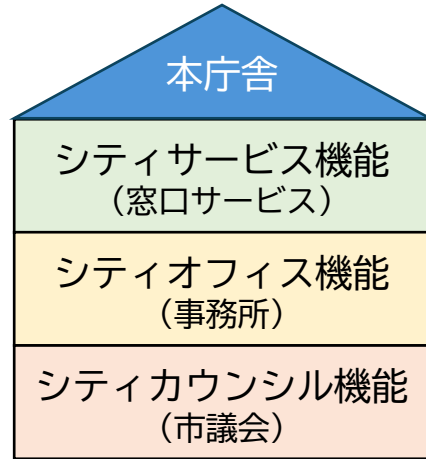
鎌倉市は、「役割の再編集」という考え方のもとで
新庁舎等の整備を着実に進める提案をします。

■新たな進め方

これまで検討を進めてきた計画の一部見直しを含め、
本庁舎の場所を変えない新案の検討を進めます。

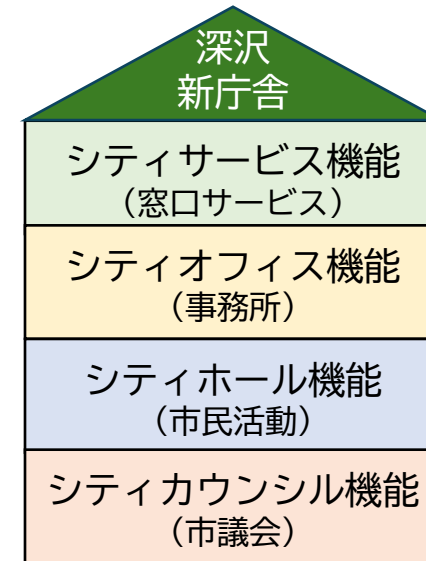
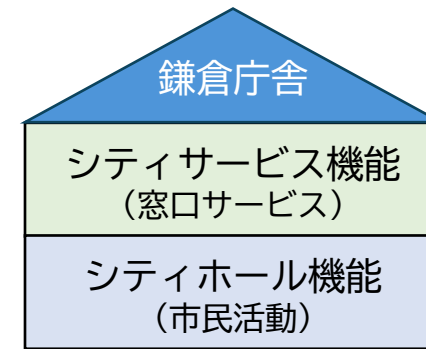
■新案「両輪体制」 (新案等の概念図)

【現状】

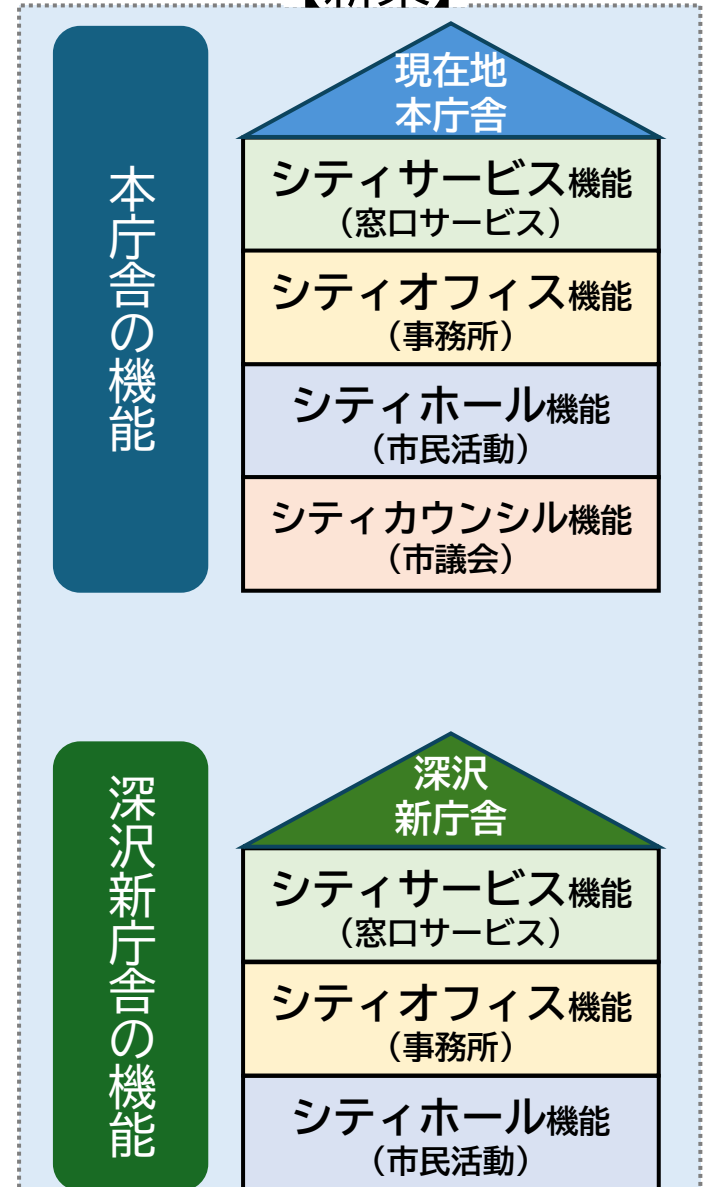


※図の大きさや位置は、面積や階数などと無関係
※消防などの機能は省略

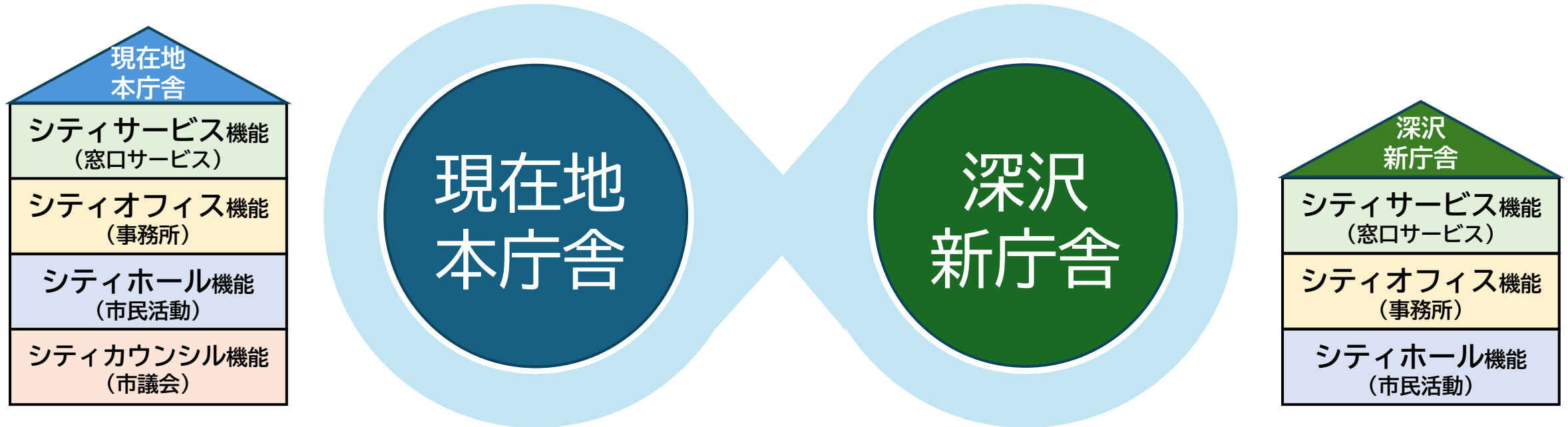
【これまでの計画】



【新案】



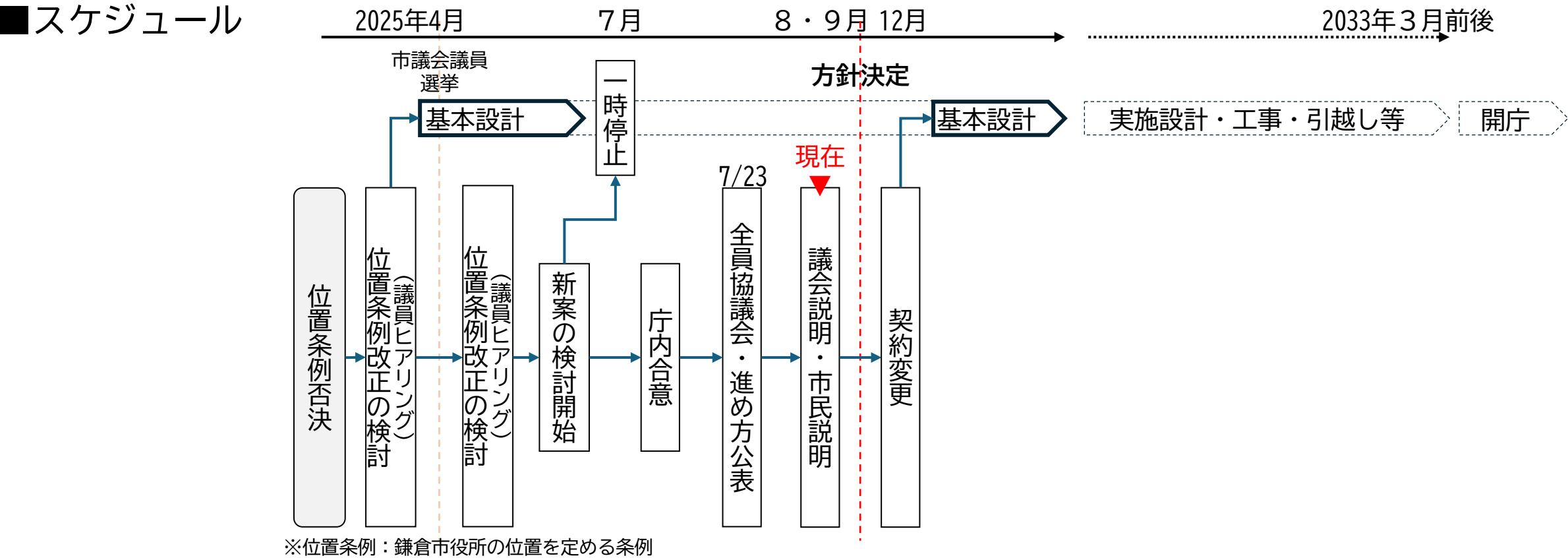
■新案「両輪体制」 （まとめ）



市役所の役割を分担し、
現在地の本庁舎と深沢の新庁舎が『両輪』となり相互に補完し合う

3. 今後の進め方、その他

■今後の進め方 市民への説明を行いつつ、新案を具体化し、新案による新庁舎等の整備に取り組む方針を決定します。



■その他 予算等、市議会に必要な議決事項を順次諮っていき、承認を経ていきます。

3. 今後の進め方、その他

■趣旨（再掲）

「市民の安全安心のために災害に強いまちをつくる」
—この思想が事業思想の根幹にあります。



公共施設の再編・深沢整備・鎌倉のまちづくり

■メッセージ

「災害に強いまちづくり」が、新庁舎の整備に関する議論の発端であり、このことについて変わりありません。

関連する要素

子育て支援

若者の居場所

多世代交流

スポーツ

など

新庁舎の整備は、これらすべての要素に関連する事業です。

このため、検討にあたってはこれらとともに総合的に検討を進めていきます。